



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

第1555回例会
2024.2.9(金)晴

司会：鈴木俊也君

ロータリーソング「我等の生業」 指揮：高村勝則君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 岡良森君



成田美幸さん、入会おめでとうございます。今年度4人目の入会者で、4人目の女性入会者です。そして、クラブ40人目の入会者となります。19年前、私が入会した時会員数は40名を超えていました。賑やかな感じだったのを思い出します。平均年齢も下がりより活動も活発化すると思いますが、何はともあれクラブに慣れていただければと思います。皆さん、成田さんは飲食業ですので大いに応援していただければと思います。

私が入会して先輩に教えていただいたことがあります。“重要なことは三つある。一つは会費を納めること、二つ目は例会に出席すること、三つめは「ロータリーの友」を読むこと”でした。私たちは、本日入会した成田さんを含め、プロの集まりでもあります。それぞれの分野で高みを目指すことを旨として、この地域での多くの人の暮らしの質が高められるよう貢献しましょうということです。特に最近では“DEI”を活動の一つの指標にしようと云われております。多様性・公平性・包括性です。私自身完全に咀嚼できてはおりませんが皆さんと一緒に努力していきたいと思っております。その意味でも、ロータリーの友はいろんなことのヒントが書かれておりますので、毎月の本をリビングに置いていただければと思います。(松下幸之助語録... 略)

本日の“乗り鉄”ネタは、能登半島ネタです。地震発災以降運行を停止しております。早くの再開を望んでやみません。艶やかで楽しい電車です。因みに地方鉄道の多くが経営上行き詰まり廃線になったりしていることはご存じとおもいます。運行本数を減らしたり、自治体の協力を得て第3セクター方式にしたり、MRT等様々な取り組みを行っております。能登半島も例外ではありません。JR西日本の管轄は七尾までです。それよりの運行は、「のと鉄道」という形で分社

化されております。単独でイベント列車等も展開しておりますがやはり経営は厳しいです。そこへきてこの震災、地域のインフラとして採算だけでは決断できない企業が頑張っているということも知っておきたいですね。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	27/36	75.00%	27/36	75.00%
今回	30/38	78.90%	会員総数	40名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、伊丹君、篠木君、杉橋君、土屋(和)君、土屋(巧)君、山口(雅)君、渡邊君

(*出席免除会員の欠席者 遠藤君 片野君)

入会おめでとう



成田美幸君

生年月日:昭和58年7月29日

職業分類:飲食業

事業所:火々

卓話

三輪暁生君

昨年の3月に入会させて頂き、初めての卓話になります。

今回は初めてということで、私の生立ちと現在の仕事について簡単にお話しさせて頂きたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は1980年(昭和55年)1月15日 父;哲士、母;千恵子の間に、3兄弟の次男として三島市内で生まれました。名前の『暁生』の由来は朝方生まれ、その日の朝陽が奇麗だった事や、2000年の誕生日に丁度成人を迎えることから、暁に生きるという意味合いで、暁生と名付けたそうです。幼少の頃は、誕生日が成人の日で祝日でしたが、私が成人を迎える年に、現在の第二月曜日、いわゆるハッピーマンデーに変更になってしまい、誕生日が休みではなくなっていました。

さて、私の両親は、社会福祉法人静岡県恵明学園という、今年度の三島ロータリークラブの会長である杉村会長が運営する児童養護施設で、父は指導員として、母は調理場の責任者として働いていました。恵明学園は、経済的理由や虐待などで両親と暮らせない、0歳児から18歳までの子供たちが入園しています。そのため、両親は子供たちと寝食を共にしながら住込みで働いていました。両親の仕事の関係から、私も産まれてから高校を卒業する18歳まで、他の児童と一緒に学園で過ごしていました。私が幼少の時は、桜ヶ丘の遺伝学研究所の前にある施設で、乳児から高校生までが1つの敷地で住んでいましたが、私が幼稚園に上がるころ、児童数も増えたこともあり、笹原新田に児童部を建設し、乳児部が桜ヶ丘、児童部が笹原新田というように分かれての生活になり、私も児童部のある笹原新田に引越して生活していました。笹原での生活は、みんなが食事をしたり勉強や遊べるスペースのあるセンター棟と、寝泊まりするための4棟のコテージに分かれての生活でした。1つのコテージには、約16名の児童と2.3名の職員が共に生活していました。そのうちの1つのコテージに、私たち家族も住み、ほかの子供たちと一緒に生活していました。そのため、いまだかつて家族5人だけで暮らした経験が無いというちょっと特殊な家庭環境でした。その分、兄弟が増えたみたいで楽しかったです。

1984年三島市緑町にある星園幼稚園に入園。星園幼稚園はキリスト教の幼稚園のため、毎週礼拝時間や当時の神父様がフランス人だったため、フランス語の授業をしてくれていた思い出があります。今ではボンジュールムッシュしか覚えていませんが。

1986年三島市立錦田小学校入学。住民票がまだ桜ヶ丘にあった関係から錦田小学校に入学しました。2年生になると当時発足したばかりの錦田FCに入団し、週末はサッカーに励むサッカー少年でした。高学年の頃はチームのキャプテンや三島市の選抜チームにも選ばれ、当時、隣の山田小でプレーしていた、元Jリーガーの高原直泰選手とも数回チームメイトとしてプレーしていました。高原選手は、当時から身長も高く足が早く、抜きに出ていた記憶があります。

1992年三島市立錦田中学校入学。中学入学後も、サッカー部に所属しサッカーを続けていました。

当時対戦して印象深い選手に、今里中に通っていた元Jリーガーの小野伸二選手がいます。当時からズバ抜けたテクニックとスピードで、圧巻なプレーをしており、一人だけ次元が違う感じだったので覚えています。

1995年日本大学付属三島高等学校入学。高校に入学してからはサッカー熱もさめ、練習は中庭でサッカーやってるからと誘われた山岳部に入部しました。入部当初は、練習と言え

ば本当にサッカーをして遊んでいる感じでしたが、次第に先輩達の練習がリュックサックに石などの錘を入れて走る練習に変わっていき、正直やばい部に入部してしまったことに気がつきました。それでも、折角入った部活なので一度は登山合宿に行きました。私はハイキングのように歩いてアウトドアを楽しむ事を想定していたものの、錘の入った重いリュックを背負い、山を走るといふ事にギャップを感じ、約3ヶ月で辞めてしまいました。その後、時間を持て余した私は、放課後の課外活動として友達と遊び回っていました。

1998年日本文理大学入学。高校卒業後、大分県大分市にある日本文理大学土木工学科に入学しました。なぜ私がこの大学に進学したかと言いますと、高校で少し遊んでしまった私は、都会の大学に行ってしまったら絶対に遊んでしまうと思いました。理系を選択していた事もあり、学歴よりも資格と実力が重要と思い、折角の4年間、この先住まないであろう場所に行こうと思いました。初めは、海外留学や北海道・沖縄なども考えましたが、北海道は冬寒し、沖縄は観光で行くところだななど思っていたところ、教室の後ろに貼ってあった指定校推薦の欄に、日本文理大学がありました。しかも、この学校の選考基準が書類選考のみだったんです。高校2年の修学旅行で、山口や福岡、湯布院、長崎に行った事もあったので、九州良いかもと思い日本文理大学へ進学しました。大分市といっても、学校があるのは郊外の方だったので結講田舎で、交通手段が無いとちょっと不便な所でした。そのため、中型バイクを買おうと思い、イベント会場の設営のバイトと、ちょっと変わったバイトをしていました。変わったバイトというのは、今はあまり見かけなくなりましたが、平成の時代に一世を風靡したテレホンクラブのティッシュ配りです。皆さんも街中で見かけたことがあると思いますが、街頭で歩いている人にティッシュを配る仕事です。配っている業種が業種なだけに、若い女性を中心に配っていたため、次第に、綺麗な女性が通るとティッシュを配りながら個人的に話しかける、いわゆるナンパに変わって行きました。

出会いを探しながらお金がもらえる、効率的な時間を過ごしていました。そんな仕事なのか遊びなのかからない状態で仕事をしていたら、社員の方に『今度、事務所内に個室を作って女性アポインターがそこで仕事を出来るようにするから、電話内容のチェックや給料の支払いなどのスタッフ管理をしてくれ無いか』と誘われ、面白そうだからもちろん引き受けました。具体的には、男性と女性の会話を聞き、会話の内容がルールに違反していないかなどチェックして、時には会話の途中で強制的に切断するなどということもありました。大学時代には、折角サーフポイントの多い九州にいたので、サーフィンを始め、週末は仲間と車で約2時間かけて宮崎県の日向へ行きサーフィンを楽しむ、そんな学生生活を送っていました。そんな私も、夏休みや、春休みなどの長期休みの時は、三島に帰ってきて、当時、兄が勤めていた建設会社で、現場作業員としてバイトをさせてもらっていました。最初は、朝が早かったり、慣れない現場作業で身体中が痛かったのですが、汗をかいた仕事終わりに飲む、ホッピーとホルモンが格別に美味しかったのを覚えています。なぜ、私がこの建設業という職種を選んだかというと、高校生時代に何度か兄の仕事を手伝ったことがあり、何も無いところから一から工事をするものを作って、ものの作りの仕事に触れ、自分の作ったものが道路や建物として残っていく、そんな壮大さとやり甲斐を感じこの職種を選ぶようになりました。今、私は年に数回、小学生、中学生、高校生、時には親子参加の職業セミナーを行なっています。みなさんは「建設」という仕事に、どんなイメージを持たれていますか？道路や建物をつくり、生活インフラを支える「社会貢献度の高

い仕事」というプラスのイメージがある一方で、昔から「3K(キツイ、汚い、危険)」産業といわれてきたように、ハードな仕事の印象が根強いいためか、若い世代の担い手が減り続けています。関係団体や行政も踏まえて、なんとか若手に興味をもってもらうと色々取り組んでいます。根本的な天候に左右される外仕事というところは変わりません。そこで私が注力しているところは、いかにやり甲斐がある職業か。また、こんなところが楽しそうだなと思ってもらえるように子供達に話をしています。そのひとつとして、建設の仕事内容をゲームに例えて発信しています。例えば、バックホウ操作をUF0キャッチャーに例え、建設工事全体をシムシティーや、あつ森などといった身近なゲームに例えて興味を持ってもらうように話しています。

2002年大学卒業後は、超就職氷河期の中、地元の小野建設に入社し、土木部の現場監督として河川や、下水道工事、橋の橋台や道路工事などの仕事に携わっていました。在職中は、静岡県、林野庁、国土交通省と各省から優良工事表を頂くことができましたが、唯一三島市の表彰がなく当時は官庁の賞をコンプリートすることが出来ませんでした。ちなみに、転職後に今の会社で三島市から、2019年から5年連続で優良工事表彰をいただけてますので、個人的には工事をした官庁全てで受賞することができました。

そんな仕事に打ち込んでいた私も、周りがだんだん結婚し始め焦りを感じ、そろそろ結婚を考える30歳になり、当時付き合っていた今の妻と入籍しました。結婚して2年後の2012年10月24日に娘の莉心が産まれました。子育てをしていく中で、妻が育児ノイローゼ気味になり、喧嘩が絶えない日々が続く、我慢の限界となった私は、娘が3歳になる頃、別居を決意し、3ヶ月ほど別居していました。そのため、娘の3歳の七五三は三島大社で現地集合、現地解散という形で式を行いました。娘には本当に申し訳ない事をしたなと思っています。

そんな中、2017年に三島市徳倉に新居を構え、現在は喧嘩をしながらもなんとか一緒に暮らしています。そして、2018年(平成30年)2月29日に16年勤めた小野建設を退社し、兄の創業した三輪建設に入社し、現在に至っています。

ここからは会社の説明をさせていただきます。

弊社は、2005年5月に長泉町竹原にある実家を事務所として、私の兄が建設の施工会社として設立しました。発足当時は兄夫婦と2人のスタッフで、住宅の基礎や外構工事、土木工事の下請け業など、とにかく頂いた仕事はなんでもやるという感じで、忙しい時は私も休日に手伝っていました。2008年には建設業の許可も取得でき、500万円以上の工事受注できるようになり、徐々にスタッフも増えてきました。そして2014年に当時、置き場として借りていた、三島市佐野に本社を移し、現在に至っています。

その後、2015年に佐野地区の箱根西麓というブランドを活かして、耕作放棄地や休耕地を借りて農業生産事業を開始しました。2016年には今まで、下請け工事をメインで行なっていたため、元請会社の仕事の受注に左右されることが多く、また、公共事業には発注の波があるので、安定的に仕事を確保できるように、自から営業して仕事を確保出来るためのツールとして、自然石を使った地盤改良工法であるエコジオ工法に加盟し地盤改良事業開始を開始いたしました。この工法は、従来のセメント系の改良工法と違い自然石を使っていますので、先日の杉橋聡さんの卓話でもありましたが、相続土地国庫帰属制度の際に、地中埋設物には該当しないため、杭の引き抜き作業がいらないと言うメリットがあります。また、同年、元請け工事受注できるようにと、公共工事の入札へも参加いたしました。

2018年三輪建設入社、グループ会社として農業部門を主体

とする株式会社miwa factory設立

2019年三輪裕介:代表取締役会長 に就任 三輪暁生:代表取締役社長に就任

2021年沼津市江浦で1棟貸の宿泊施設『シーサイドテラスSUN』をオープンして民泊事業を開始。2022年御殿場市菜黄沢で『ハウスドゥ御殿場ぐみ沢』をオープンして不動産事業を開始。三島市西本町でちよい飲みできるラーメン屋『ラーメン建設SUN』をオープンして飲食事業開始。また、三島市佐野の本社敷地内で手ぶらで楽しめるBBQサイト『三島プライベートBBQ SUN』オープン2023年沼津市江の浦で2棟目の宿泊施設『グランテラスSUN』オープン地盤改良工法の新工法である、残土ゼロ、残地ゼロの環境に配慮した細径単管工法『W-ZERO工法』加盟、先端翼付鋼管を用いた杭状地盤補強工法『暁工法』加盟2024年今年3月には三島市広小路で蕎麦屋と居酒屋の『蕎麦建設・居酒屋SUN』をオープン予定また、建設機械の教習所『静岡トレーニングセンターSUN』を開校準備中と、沼津市江浦で3棟目の民泊施設をオープン予定です。

このような形で『人と社会に貢献すべく、常に笑顔で挑戦し続ける』をモットーに様々な取組にチャレンジしていますので今後ともよろしくお願ひいたします。

最後に、去年は吉田恵輔監督、石原さとみ主演の『ミッシング』という映画のロケを弊社の置場で協力をさせていただく機会があり、私も一瞬ですが、エキストラとしてセリフ付きで出演させていただきましたので興味のある方は映画館で探してみてください。公開は今年の5月17日(金)です。

スマイルボックス

矢岸貞夫君:免許証更新の為、高齢者講習を受けて来ました。まだボケてませんでした。

加藤正幸君:本日2回目の陽子線治療(前立腺がん初期)行って来ました。後19回です。皆様も定期検査受けて下さい。

中村徹君:2月19日で81才になります。2年前の79才の誕生日は放射線治療や抗がん剤治療を受けるために静岡がんセンターで入院していました。79才直前までお産に立ち合う事が出来たのは、親が丈夫に生んでくれたと思います、感謝しています。これからも、体が続く限り職業奉仕もせせらぎ三島ロータリークラブのロータリアンとしての人生も全うするつもりです。よろしくお願ひいたします。

山口辰哉君:豊洲市場に隣接する新スポット「千客万来」には「インバウン丼」というどんぶり飯があるそうです。15000円ですが、アメリカドルでは100ドル。アメリカ人には「ふーん、だからなに?」というところらしいです。

原 兄多君:花粉症の季節です。つらいです。

大川泰君:さあ、そろそろIM事業です。スマイルで取りかかりましょう。

三輪暁生君:本日はじめての卓話です。よろしくお願ひします。

おめでとう

会員誕生日	2月23日	石井司人君
	2月19日	中村 徹君
入会記念日	2月14日	服部光弥君
	2月20日	原 兄多君
	2月21日	米山晴敏君



委員会報告

IM実行委員会 実行委員長 加藤正幸君

<直会について>

懇親会場にてそのまま続けて行います。

その後、有志によりJAZZにて2次会を行います。

<メール発信について>

IM関係メールを全員メールにて発信していきます。

今回のIMでは子供食堂を取り上げております。

「懇親会場での料理の食べ残しを止めましょう」を前面にお願いしていきたいと思えます。



ROTARY NEWS

世界中で活躍する「行動人」

ホンジュラス

ホンジュラスの思春期にある若者の約40%が中学校に通っておらず、学業成績も低い状態です。テグシガルパスール・ロータリークラブとオンタリオ州のピーターボロ・ロータリークラブは、この課題に取り組むために協力しました。2018年、すでに別のプロジェクトで協力したことがあった両クラブは、レパテリケの町に教員教育センターを建設し、書籍や教材を寄贈しました。最近では、ある非営利団体および国の教育省と協力し、小学校の教師に識字率向上のための研修を行いました。ピーターボロクラブの会員であるマリー・プレスさんは次のように話します。「62校から集まった160人の教師を対象に、交代で計16時間のワークショップを行いました。反響は上々でした」

セネガル

ダカール・ソレイユ・ロータリークラブとペンシルバニア州のウェストチェスター・ロータリークラブは昨年、セネガルの三つの村で井戸を掘削するプロジェクトの達成を祝いました。コロナのパンデミックによる遅延や建設会社による水源の検査に数カ月がかかったものの、7月から8月にかけて南東部の地域で井戸を掘削できたと振り返るのは、アラバマ州グレーターハンツビル・ロータリークラブ会員のサミュエル・ローリーさんです。ローリーさんによると、設置が計画されている五つのポンプのうち三つがすでに利用され、飲み水が提供されています。このプロジェクトには、グローバル補助金13万ドルが利用されています。また、パンデミック中にオンラインでも資金を募りました。プロジェクトのフェイスブックページでも寄付を集め、「同じような井戸を私たちの地元でも設置してほしいが、どうしたらいいですか」といったコメントもページに寄せられました。

英国

ハリファクス・ロータリークラブは、クラブ100周年プロジェクトとして、Magna Viaと呼ばれる古代の道の上に展望ポイントを建設しました。そこに設置されたイラスト付きパネルには、Wainhouse Tower, Borough Market, Square Churchの尖塔、ハリファクス断頭台(ギロチンの先駆けとなった16世紀の断頭台のレプリカ)、ピックベンや英国議事堂の建築家であるチャールズ・バリー卿がデザインしたタウンホールなどの有名な建物が示されています。QRコードを読み込むと、クラブのウェブサイトに掲載された各建物の詳細を見られるようになっています。「眺めは素晴らしく、地平線を見渡せます」と話すのは、第1040地区パストガバナーのケン・ロバートショーさんです。6月下旬にお披露目となったこの25,000ドルのこのプロジェクトは、スポンサー企業や寄付者(ロバートショーさんを含む)からの資金で実現したもので、ロバートショーさんの亡くなった妻、ポーリーンさんを記念するものです。展望ポイントのメンテナンスは、町議会が行うことで同意しました。ロバートショーさんは次のように話します。「この場所の歴史を考えると、町の豊かな伝統を称えるような何かをここに建てるのが最適だと考えました」